



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

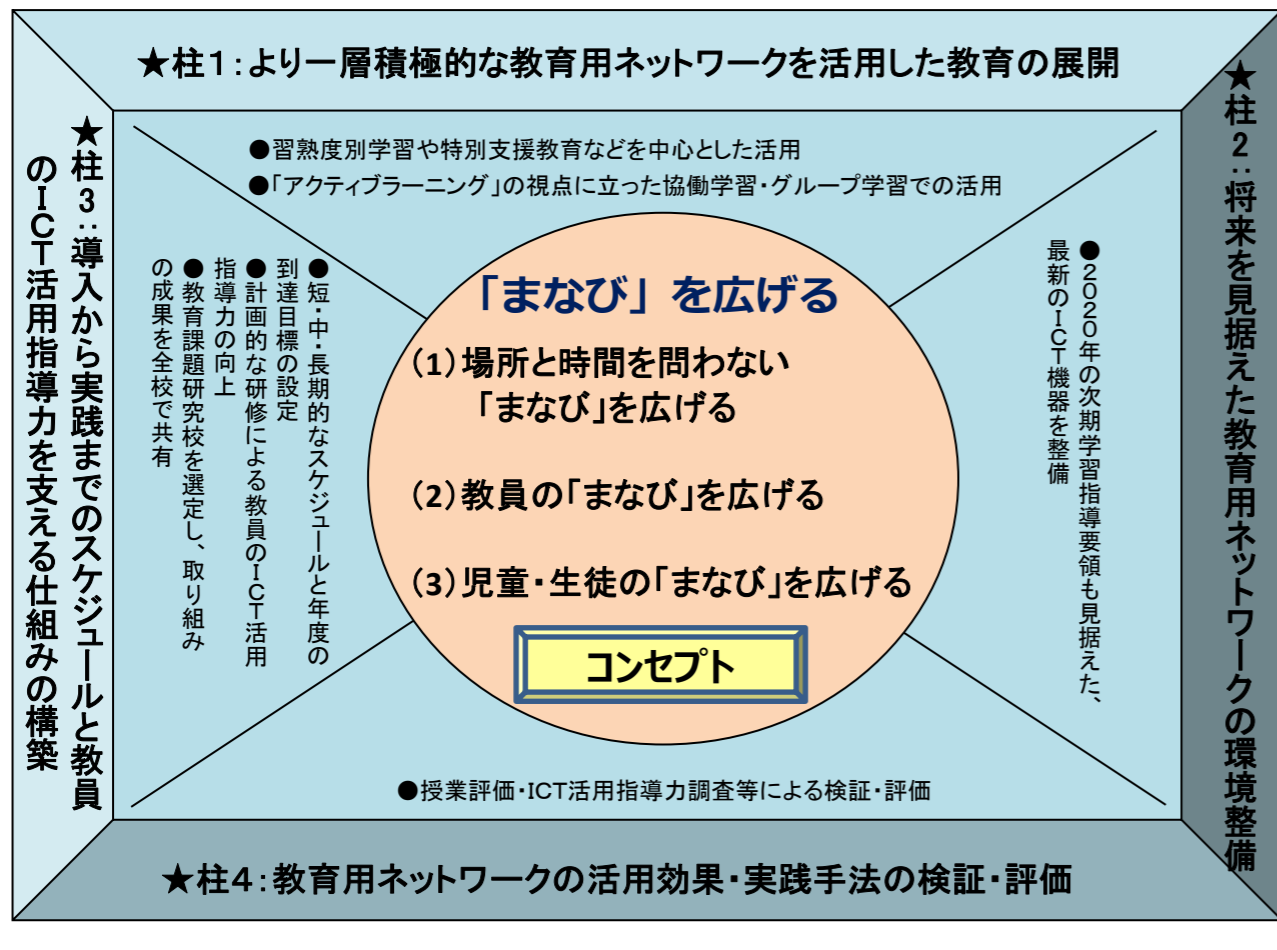
平成29年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成29年2月14日(火)

事業名	ICTを活用した教育環境の充実	予算(案)の概要 73 ページ
予算額	569,816 千円 (拡充) (前年度予算額 2,684 千円)	
取材先	教育委員会事務局 教育支援課長 高橋 (電話 03-3232-1051)	

1 事業概要

区立小・中学校・新宿養護学校の教育用ネットワーク及び教室用ICT機器について、授業の質的向上を図り、児童・生徒の学習意欲をより一層引き出すため、より使いやすく、より教育効果の高い最新のICT機器(タブレットパソコン・電子黒板機能付プロジェクタ・実物投影機)に更新します。

2 教育用ネットワークのコンセプトとそれを支える4つの柱



3 29年度の展開

タブレットパソコン・電子黒板機能付きプロジェクタ・実物投影機の導入等

予算額 564,942千円

◆タブレットパソコン (2,600台)

【通常学級の活用事例】

- ①習熟度別学習：児童・生徒がタブレットパソコンを一人一台利用し、個別の進捗に応じたデジタル教材を使って学習。
- ②協働学習：グループで情報収集・情報共有・意見交換を行い、発表。
- ③体育実技：児童・生徒同士で撮影し、画像や動画を見ながらグループで改善点を検討。

【特別支援教育(まなびの教室等)・日本語学級の活用事例】

- ①読み書きに障害のある児童・生徒が音声入力や音声読み上げ、手書き入力等の機能を使うことで、学習上の困難の克服・改善を図る。
- ②日本語学級の児童・生徒が手書き入力で筆順を練習したり、音声を録音・再生し、発語の練習を行う。



出典：文部科学省ホームページ
(<http://www.mext.go.jp>)

◆普通教室のプロジェクタ (412台)

電子黒板機能付きプロジェクタに更新

◆実物投影機 (412台)

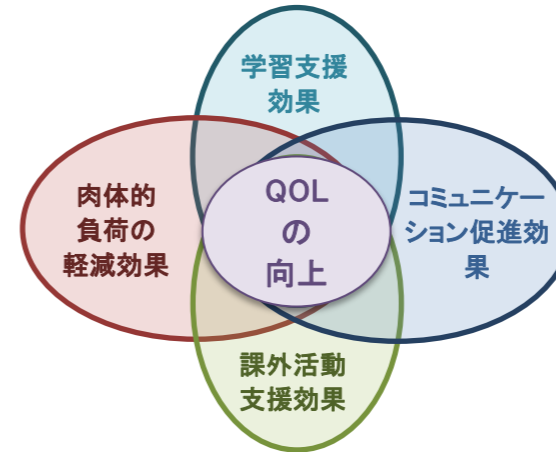
最新機種に更新

新宿養護学校への視線入力装置(2台)・タブレットパソコン(40台)の導入等

予算額 4,874千円

新宿養護学校には、肢体・発語に不自由があるため授業中も自由に意思の伝達ができない児童・生徒が在籍しています。タブレットパソコンと視線入力装置を導入することで、下図のような効果が期待できます。

【期待される効果(イメージ)】



※視線入力装置とは

人間の瞳孔や虹彩の動きをカメラ検知し、視線の動きをパソコン画面等の機器に伝えるための装置です。



①一体型

②USB接続型